

令和5年9月12日

合志市長 荒木 義行 様

合志市総合政策審議会
会長 富加美 尚悟

合志市総合計画（第3次基本構想、第1期基本計画）素案について（答申）

令和5年8月24日付け合企第284号で諮問があった合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画（素案）について、慎重に審議し検討を行いましたので、下記のとおり答申します。

記

本審議会では、合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画を策定するにあたり、慎重に審議を重ねてきました。市民ワークショップの開催は、中高生を対象に実施するなど、これまで以上に多くの市民の意見・提案を取り入れた計画にしようという姿勢がみられ、本審議会でも、市民ワークショップで出された意見のとりまとめを行い、基本計画策定の過程で十分に市民ニーズが反映されるよう提言してまいりました。

また、合志市総合計画第2次基本構想では、将来都市像を「元気・活力・創造のまち～健幸都市こうし～」と定め、市民と協働したまちづくりを行ってきました。この度、合志市総合計画第3次基本構想の策定にあたり、本審議会では将来都市像について審議を重ねた結果、様々な環境の変化に柔軟に対応しながら、誰もがこのまちで安心して心豊かにいきいきと暮らし続けることができるよう将来都市像を「人と地域が輝く未来へ 健幸都市こうし」とし、幸福なまちを未来へ繋いでいけるよう、本計画を確実に推進されていくことを切望します。

今回、諮問がありました「合志市総合計画第3次基本構想及び第1期基本計画（素案）」については、今後の行政運営の指針として、概ね妥当なものと判断します。なお、本計画に掲げる施策が具体的に実現されることが重要であることから、計画推進における留意事項を付し、市民との協働を図りながら、積極的に施策を推進するよう求めます。

【計画推進における留意事項】

1. 半導体産業をはじめ本市への企業立地が加速しており、更なる発展を遂げようとしている中で、市民にとって交通渋滞に対する課題解決は急務と感じております。しかしながら、道路等のインフラ整備には時間と費用を要するため、渋滞解消に向けた取り組みとしてソフト対策（時差出勤・公共交通への転換等）を推進し、安全安心に暮らしていけるよう、行政はスピード感をもって課題解決に努めるよう求めます。また、企業立地が加速し農地が減少する中で、農家をどのように支援していくのか、これまでの推進の枠組みに捉われない新しい発想で支援に取り組んでいくよう求めます。
2. 様々な施策で重要視されるコミュニティについて、地域の関わりが希薄化する中、コミュニティが維持・強化されていくよう、執行機関はコミュニティ活動を支援するとともに、多文化共生のまちづくりを進め、誰ひとり取り残さない社会が実現するよう強く求めます。
3. この計画を市民にわかりやすく周知し、市民と協働によるまちづくりが着実に実行されるよう求めます。

以上